

## 令和5年度研修概要

# 個別最適な学びを軸にした授業づくり

## — イエナプラン教育の取り組みを通して—

下関市立生野小学校 久永 翔斗

### 要 旨

日本の新たな教育指針は、伝統を尊重しつつ、「個別最適な学び」の重要性が強調され、従来の一斉授業や標準化されたカリキュラムにとらわれず、生徒の個別ニーズに合わせた指導が求められている。

オルタナティブ教育は、従来の教育とは異なるアプローチを提供し、個々の生徒のニーズや興味に合わせた学習環境を提供する。イエナプラン教育では、子どもたちの個々の可能性を引き出し、共生社会を目指すビジョンを持つ。イエナプラン・スクールでは、科目別の時間割を区切らず、対話や遊び、仕事、催しの4つの基本活動を循環して行う。仕事の1つであるブロックアワーでは、自立学習とインストラクションが行われ、異年齢のグループの中で『個別最適な学び』が行われている。

### 目 次

第1章 個別最適な学び	1
第1節 日本指針	
1-1. 令和の日本型教育	
1-2. 新学習指導要領改訂	
第2節 個別最適な学び	
2-1. 個別最適な学びとは	
2-2. 「指導の個別化」と「学習の個性化」	
2-3. 協働的な学びの充実	
第2章 イエナプラン教育	2
第1節 オルタナティブ教育	
1-1. オルタナティブ教育の定義	
1-2. オルタナティブ教育のそれぞれのコンセプト	
第2節 イエナプラン教育の教育理念	
2-1. イエナプラン教育のビジョン	
2-2. オープンモデルとしての教育	
第3節 イエナプランの仕事（学習）	
3-1. イエナプラン教育の実践	
3-2. ブロックアワー	
第3章 イエナプラン教育の実践	3
第1節 イエナプラン・スクール	
1-1. 茂来学園大日向小学校（視察から）	
1-2. 福山市立常石ともに学園（視察から）	
第2節 ブロックアワーの実践	
2-1. 学習計画	
2-2. ルーブリック評価	
2-3. 成果と課題	



## 第1章 個別最適な学びの重要性

### 第1節 日本の指針

#### 1-1. 令和の日本型学校教育について

中央教育審議会では、令和3年1月26日に『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』(中教審第228号)を取りまとめた。答申では、伝統的な価値観を尊重しつつ、探究型学習やICT活用を推進し、生徒の主体性や個性を尊重している。多様な児童生徒のニーズに柔軟に対応し、障害や異文化に配慮した教育環境を整備することで、さらに、地域や社会と連携し、未来に向けた必要な力の育成を目指している。このアプローチにより、児童生徒が自己実現を果たし、社会に貢献できる人間力を身につけることが期待されている。

#### 1-2. 新学習指導要領改訂

新学習指導要領では、個別の生徒に適した指導を重視し、指導方法や体制の改善により、個別の指導を充実させることが強調されている。

「個別に応じた指導の充実」では、従来の一斉授業や標準化されたカリキュラムにとらわれず、生徒それぞれの個別のニーズに合わせた指導を行うことが求められている。

また、ICT等の情報技術を活用して、生徒が自らのペースや興味に合わせて学習できる環境を整えることや、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、個別の指導を充実させることが重要視されている。

### 第2節 個別最適な学び

#### 2-1. 個別最適な学びとは

令和の日本型学校教育において、「個別最適な学び」は重要な教育方針の一つである。このアプローチは、従来の一斉授業や標準化されたカリキュラムに縛られず、児童生徒一人ひとりの個別の能力や興味に合わせた指導を提供することを目指している。これにより、

生徒が自らの学習ペースやスタイルに合わせて学ぶことが可能となり、自己成長を促進することが期待されている。

個別最適な学びの実現には、以下の要素が重要である。まず、学校は生徒の個別のニーズや能力を把握し、児童一人ひとりにあった学習プランを提供することである。指導方法やカリキュラムも柔軟に調整され、児童が自らの興味や学習スタイルに合わせて学ぶことができる環境を整えることが大切である。

また、情報技術の活用も個別最適な学びを支援する重要な手段である。コンピュータやインターネットを活用することで、生徒は自分のペースで学習し、自己管理能力を向上させることができる。

#### 2-2 「指導の個別化」と「学習の個性化」

個別最適な学びには、2つの側面がある。1つは「指導の個別化」である。指導の個別化とは基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するため、支援が必要な子供により重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現することや、特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行うことである。

もう1つは「学習の個性化」である。学習の個性化とは、基礎的・基本的な知識・技能等や情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が、学習が最適となるよう調整することである。

#### 2-3 協働的な学びの充実

「個別最適な学び」が「独立した学び」に陥らないように協働的な学びの充実が重要である。集団の中で個が埋没してしまうことがないように、一人ひとりの良い点や可能性を生かしながら、多様な他者と協働できるように指導・支援することが必要である。そのためには、これまで以上に、子どものつまずき、興味・関心・意欲等をきめ細かく理解することが大切である。

## 第2章 イエナプラン教育

### 第1節 オルタナティブ教育

#### 1-1. オルタナティブ教育の定義

オルタナティブ教育は、従来の学校教育とは異なるアプローチを提供する教育の形態である。この教育の目的は、個々の生徒のニーズや興味に合わせてカスタマイズされた学習環境を提供することである。オルタナティブ教育は、自己主導学習、プロジェクトベースの学習、実践的な経験を重視するなど、さまざまな方法を採用している。これは、従来の教育システムが十分に対応できない児童や、異なる学習スタイルを持つ児童にとって特に有益である。オルタナティブ教育のアプローチは、従来の教育に対する新たな視点を提供し、児童生徒の学習成果や満足度を向上させる可能性がある。

#### 1-2. オルタナティブ教育のそれぞれのコンセプト

オルタナティブ教育の教育者たちは皆、それぞれ中心的なコンセプトをもっている。シュタイナー教育の場合は、アントロポゾフィー。モンテッソーリ教育では、発達のための教材。ダルトンプラン教育の場合は、自立性。フレネ教育は、グループの子どもたちによる学習内容の決定である。

本章で中心に扱うイエナプラン教育のコンセプトは、「解釈可能な目標モデル」あるいは、「容認的なグランドモデル」と言われている。つまり、このコンセプトはそこからさらに新しい進展が起こることに期待して独自に解釈して実践していくための自由裁量のゆとりがあるオープンモデルの教育であると言える。

### 第2節 イエナプラン教育の教育理念

#### 2-1. イエナプラン教育のビジョン

イエナプラン教育は、一人ひとりの子をその子らしく最大限の可能性を引き出して育てることを目指した子育てのビジョンであり、人々がお互いを尊重して生きる共生社会を学

校共同体として具現化しようとしたものであると日本イエナプラン協会特別顧問のリヒテルズ直子さんは述べている。

#### 2-2 オープンモデルとしての教育

イエナプラン教育では、教育理念を「8つのミニマム」として目指すべき方向を明確に示している。

また8つのミニマムからさらに「20の原則」として①人間について②社会について③学校についての3分野で目指す学校像のビジョンが示されている。(資料①)

8つのミニマム・20の原則は、教員間のビジョンを共有しながらも、目の前の子どもたちの様子や地域の環境に合わせて、自由に創意工夫した教育活動を行うことができる枠組みである。

### 第3節 イエナプランの仕事（学習）

#### 3-1. イエナプラン基本活動

イエナプラン・スクールでは、科目別の時間割を区切ることはせず、「対話」「遊び」「仕事」「催し」の4つの基本活動を循環して日課にしています。

仕事は、「ブロックアワー」と呼ばれる自立学習とインストラクションの時間と、「ワールドオリエンテーション」と呼ばれる探求の時間が中心に行われる。自らの問いについて教科学習による基礎学力や基礎知識を習得したり、活用したりする活動である。

#### 3-2. ブロックアワー

ブロックアワーは、教師によって決められた日課ではなく、教師が示した1週間の課題を月曜日から金曜日までの計画表にブロック子ども自身が計画を立て、学習をしていく。子ども自身が課題（学習内容）によって、ふさわしいと思う時間帯、ふさわしいと思う場所を選択し、自立した学習を進めていく。

また、自立した学習とは別に、グループリーダー（教師）は、インストラクション（教師による指導）を適宜行っていく。

さらに、学習のベースとなるグループは、異年齢で構成されており、グループの中での教え合いや協働できる環境が整われている。

### 3章 イエナプラン教育の実践

#### 第1節 イエナプラン・スクール

##### 1-1. 茂来学園大日向小学校（視察から）

大日向小学校は2019年4月に佐久穂町の開校した日本で初めてのイエナプラン・スクールであり、学習指導要領に基づいていた教育を行う一条校である。

令和5年度は、1・2学年、3・4学年、5・6学年に分かれ、異年齢クラスをつくり基本活動を行っていた。午前はブロックアワーを中心とした活動。午後からは、ワールドオリエンテーションや催し、遊びを行っていた。

##### 1-2. 福山市立常石ともに学園（視察から）

福山市では、令和4年度から基本理念としている「福山100NEN教育」を推進している。その一つの取組として「イエナプラン教育」を取り入れた公立初のイエナプラン教育校を令和4年度から開校した。

公立校ではありながら、3学年による異年齢学級を編成し、ブロックアワーやワールドオリエンテーションなどの画一的な一斉指導からの脱却を図り、児童一人ひとりを大切にしたい教育活動を行っていた。

#### 第2節 ブロックアワーの実践

##### 2-1. 学習計画

大日向小学校・常石ともに学園の視察から学んだ1つとして、子どもが自ら学習計画をたてることで、自ら主体的に学ぶ力や学びを振り返る力(メタ認知)が育まれると感じた。

そこで、生野小学校5年生の算数科の「角柱と円柱」の学習において、ブロックアワーを行った。教師が作成した課題を全8時間の中でどのように進めていくのかは、子どもたちが計画し、取り組んで行った。

課題については、評価に準じた「知識・技能」の課題、「思考・判断・表現」の課題、「主体的に学習に取り組む態度」の課題に分け、準備した。子どもたちは学習支援アプリロイロノートの中で、課題を行った。教師

は、一人ひとりの課題の達成状況や理解を丁寧に把握し、ブロックアワーの時間の、インストラクションや子供同士のコネクトに生かした。

自立学習シート（知識・技能）用プリント		単元名（ ）		名前（ ）	
○この単元で学ぶ算数用語 ①角柱 ②円柱 ③展開 ④側面 ⑤曲面 ⑥					
この単元で身に付けてほしいこと	課題	教科書	練習問題	計画日	完了日
① 角柱と円柱に仲間分けできる。	ロイロノート	P212、213	P215、219、278、 プク、註⑤		
② 角柱の種類別における	ロイロノート	P214	P215、219、278、 プク、註⑤		
③ 三角柱と円柱の見取り図をかくことができる。	ワークシート	P216	P219、278、 プク、註⑤		
④ 三角柱と円柱の展開図をかくことができる。	ワークシート	P217、P218	P218、219、278、 プク、註⑤		
① 角柱と円柱の底面の特徴について説明できる。	プレゼン	P214	プク		
② 角柱の側面の特征について説明できる。	プレゼン	P214	プク		
③ 円柱の曲面の特征について説明できる。	プレゼン	P215	プク		
各種の角柱の辺の数、面の数や形をまとめ、そこからわかるきまりを説明できる。	ロイロノート	P214、215	プク		
●角柱と円柱を作る	厚紙(ロイロ)	P217、218			
●角柱の展開図を集められるだけ集める！！	厚紙(ロイロ)	P217、218			
作ることができるようになったか問題を解いてチェック	自分で決める	プレテスト	P219、ふしめ		

##### 2-2 ルーブリック評価

視察の中で、多くの先生からあった質問は、「評価」についてです。評価については、事前に子どもたちに示し、子どもたちは、自分の学びが現在どの位置にいるのかを、適宜振り返ることが大切なようだ。そこで、本校の実践では、算数科学習指導要領解説をもとにルーブリック評価を作成し、計画票の作成時や、インストラクションの際に繰り返し確認する機会を設けた。

	【 角柱と円柱 】		学習のめあて	
①知識・技能	①と②と 展開図をかくことができる	①と 見取り図を書くことができる …②	角柱の種類について 説明できる…①	角柱と円柱の違いを 説明できる。
②思考・判断・表現	①と②と③と ③から分かる決まりを 自分の言葉でまとめることが できる。	①と②と 様々な角柱の辺の数や面 の数や形についてまとめること ができる…③	①と 『角柱の側面』『円柱の曲 面』について説明できる …②	角柱と円柱の底面について 説明できる…①
③自己調整・協働	展開図をたくさん 集めることができる。	円柱を作ることができる。	角柱を作ることができる。	

##### 2-3. 成果と課題

ブロックアワーを実際に行ってみての成果は、子どもたちの日々の授業や振り返りから『学ぶことの楽しさ』を感じている様子が伝わってきたことである。主体的に学ぶ姿やクラスメイトと協働しながら学ぶ姿が、多く見られた。課題として感じたのは、子どもたちを見取り、深い学びに向かえるようなインストラクション等の支援の難しさを感じた。